

令和2年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局、帯広防衛支局

北海道防衛局第1・第2会議室

開催日及び場所	令和3年3月8日(月)
委員	阿座上洋吉(経営学者) 大浦 崇志(公認会計士) 神谷奈保子(大学客員教授) 菊地 均(大学名誉教授) 津田秀太郎(弁護士) (50音順)

防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和2年1月1日 ~ 令和2年12月31日
審議対象件数	123件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数		5件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	1件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	企画競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	2件		

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>①-1 北恵庭(2) 隊庁舎新設等機械工事</p> <p>①-2 北恵庭(2) 隊庁舎新設等建築工事[政府調達協定対象]</p> <p>・工種こそ異なるが、同じ施工場所における同じ建物に対して、別々の工事として発注している。機械工事は1者応札で100%に近い落札率であるところ、建築工事は基準額以上の事案で17者が応札し、約95%の落札率である。ついては、合わせて発注することは不可能か。</p> <p>・機械工事に関して、1者応札だった理由を伺う。</p>	<p>・考えられないことはないが、異業種を合わせて発注した場合、入札の参加を敬遠されやすく、かつ、落札者の専門業種ではない工種を下請けに出すことになる。その場合、入札金額が高くなることが考えられる。</p> <p>・施工場所が札幌近郊の恵庭市内であり、予定価格が約2.5億円となったことからある程度の規模があったため、応札者は確保できると考えていた。</p> <p>仕様書等を取得した業者に、応札しなかった理由を聴取したところ、配置技術者が確保できなかったこと、及び管工事業については全般的に人手不足である旨の回答を得た。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・建築工事については、最安値の 応札者が落札していないが、その 理由について。</p> <p>・技術提案の評価点の決め方につ いて。</p> <p>②-1 上富良野（元補）隊庁舎 新設等建築設計</p> <p>②-2 名寄（元補）隊庁舎新設 等建築設計</p> <p>・応札者がほぼ同じ中、同一の業 者が落札率40%未満で落札した理 由について。</p> <p>・応札額が予定価格の40%未満で あるが、予定価格の算定に係る適 正性には問題がない、という認識 か。</p> <p>・低価格入札が発生している実態 を考えると、発注者と応札者とで 、人件費や経費等の考え方及び支 払実態に差が生じていると感じる が、そのような分析は可能か。</p>	<p>・総合評価落札方式に基づき落札者 を決定しているため、応札額は最安 値ではないが、価格と価格以外の評 価項目（企業による技術提案）を総 合的に判断して、最も評価点の高い 優れた応札者を落札者と決定した。</p> <p>・提案された技術について、建築職 の職員5名が採点基準に基づき評価 点を決め、最高点と最低点を除いた 3名の評価点を平均して当該技術提 案の評価点としている。</p> <p>・発注時期が同一であって、設計業 務の対象物が類似した建物であった ことが、ほぼ同じ応札者となった理 由と考える。</p> <p>落札率が低かった要因は、これま で地方防衛局における設計業務を受 注した実績を踏まえ、人件費や経費 を削減できたことから、当該応札額 で履行可能と判断した旨を低入札価 格調査時に確認した。</p> <p>・国土交通省の基準に基づき算定し ており、予定価格の算定に問題はな いものと考えている。</p> <p>・昨年度以前も低価格による入札が 多く、価格競争が激化していた。そ れにより、ひいては品質低下を招く おそれがあるため、当局においては 今年度から、総合評価落札方式にお いては履行確実性の評価を行うこと とし、技術評価点を算出している。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>③ 矢臼別（２）食厨改修等機械 その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者応札であった理由分析について。 	<p>・ 本事案については、一昨年度から昨年度にかけて公告・入札したが不調となり、今般 4 回目の再公告・入札で落札者が決定した。</p> <p>本事案に限らず、道東地域における管工事は不調・不成立が続いており、過去 3 年間で 10 件の管工事のうち 8 件が不調・不成立となっている。</p> <p>これは、釧路・根室近郊に所在する有資格者が少ないことや、施工場所が都市部から離れていて、技術者等の確保が難しいという状況にある。</p>

委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		
2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について				
談合疑義件数		0件	(審議概要)	
工 事	談合情報	0件	・なし	
	点検結果疑義	0件		
業 務	談合情報	0件		
	点検結果疑義	0件		
○委員からの意見・質問		意 見・質 問		回 答
○それに対する回答等		・なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		
3. 再苦情処理(再説明請求回答)				
再苦情申立件数(再説明請求件数)		0件	(審議概要)	
建 設 工 事	一般競争(政府調達協定対象)	0件	・なし	
	一般競争(政府調達協定対象外)	0件		
	公募型指名競争	0件		
	指名競争	0件		
	企画競争	0件		
	随意契約	0件		
建設コンサルタント業務等		0件		
○委員からの意見・質問		意 見・質 問	回 答	
○それに対する回答等		・なし		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・なし		